

INFORMATION

MOSCOW REPORT 12月モスクワ イベントリポート

HELLO TEDDY! Dec.3-6,2015 T-Model

ART OF DOLL Dec.11-13, 2015 Gostiny Dvor

この冬も、モスクワで開かれたHELLO TEDDY!とART OF DOLLに出展、コンテストの審査を担当させて頂きました。ともにロシアを代表する創作動物、人形もののイベントです。(文 羽関)

創作が中心の HELLO TEDDY!

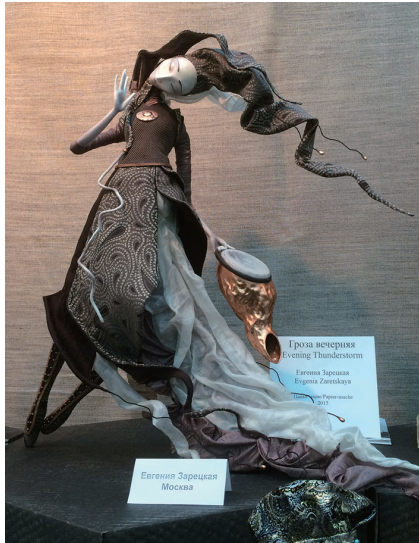
テディベアのイベントは、他国ではクラシックなテディベアが多いのに比べ、300を超えるHELLO TEDDY!の出品者は創作作家の出品が中心です。新しい作家も増え続け、小さな愛らしいキャラクターで個性をどうアピールするか競ってます。人気作家の後を追うような作風は一目で見破られ、歓迎されません。楽しい作品が沢山並ぶ会場で、技術と発想が厳しく吟味される状況を実感しました。日本からは日本のFANTANIMA!の作家たちを紹介、出品作家の間で大変好評でした。FANTANIMA!はロシアの作家のあいだでも評判が広まり、出品希望する人も増えてきています。コンテストではFANTANIMA!賞をイリナ・ドゥロズドヴァさんに授賞しました。2016年のFANTANIMA!はドゥロズドヴァさんの作品はじめ、作家のなかでもっとも尊敬されるアーティスト、オルガ・ジャルコヴァさんら50人以上の海外作家の作品をご紹介します予定です。(FANTANIMA!2016 5月4日~10日丸善丸の内本店開催 大阪展詳細は追ってお知らせします。1月から新着情報インターネットに掲載します。FANTANIMA!で検索してください。)

レトロがテーマの ART OF DOLL

今年のポスターはクキノヴァのビスクドール。モスクワで流行のアールデコ期のレトロファッションを反映しました。経済状況の影響か、プロジェクトと呼ばれる企画展示部分が縮小傾向、ロシアの人形作家グループの展示が見られなかったのが残念でした。しかし、その創作人形界で逸材が底をつくことはないようです。地味であっても見応えのある展示が必ずあります。何気なく展示されている作品をみても、どれも豊かな絵心や、しっかりとしたイメージが背景にあるのを感じます。また、固定ポーズ中心だったところに、世界的なBJDの流行を取り入れる作家も増えてきました。しかし流行を鵜呑みにするのではなく、自身のキャラクター性と高級感を出すように工夫しています。これらの潜在的な成長力を思うと、世界の創作人形の中心がロシア・東欧という旧共産圏にシフトしていることを現実として受け止めなければと思います。今回もコンテストの審査をさせて頂きましたが、チーム・コヤアラ賞として選んだエヴゲニア・ザレツカヤさんの「夕方の雷鳴」(写真右)

の造形、デザインもそのようなロシアらしい良さを感じさせる作品でした。一方、教室等で作り手の裾野が広がったのでしょう、以前は見かけることが少なかった未熟な作品も展示にあがってくるようになりました。

チーム・コヤアラは、山吉由利子さんの球体関節人形を中心に展示を展開、世界に先駆けた日本の球体関節人形について解説しました。またNoeさんの工芸的な作品や会員の新家智子さん、亀島利子さんの作品を展示し好評を博しました。今回の訪露でいろいろ考えさせられました。次号の紙面が許せばいくつか書いてみたいと思っています。



ART OF DOLLS 'TEAM KOYAALA AWARD'
Evgenia Zaretskaya 'Evening Thunderstorm'

海外展 出品者募集

第2回 SPRING DOLL FESTIVAL (ミュンスター/ドイツ)

2016年4月23日(土)・24日(日)

会場 ミュンスター メッセ

コヤアラ通信22号でお伝えしたフェスティバル。主催者はヨーロッパに新しい人形シーンづくりに挑戦しています。プロにもビギナーの方にもお勧めです。現地では羽関のご案内いたします。

出品方法

・チーム・コヤアラ出品枠(審査なし 出品数限定)

※現地に行かれる方を優先いたします。

・個人出品(審査なし・希望者は一般の申し込み方法をご案内します) 出品をお考えの方は、オフィスサイズへのご相談をお勧めします。

オフィスサイズでは人形展参加ツアーをご用意しております。個人的に旅行プランのご相談も承っております。

(株)オフィスサイズ

〒136-0072 東京都江東区大島5-45-9-408 担当:片山

TEL:03-3684-9395

e-mail:freude-reise@office-sei.net(ツアー専用)

URL:www.freude-reise.net

旅行主催 羽関オフィス mail:hazeki@nonc.jp

作品写真2~3点(全体・アップ・裸形) サイズ:ハガキ大。
「会員番号」「作家名」「タイトル」「素材」「サイズ」他、簡単なコメントなど。
*何点でも応募できますが、誌面の都合上掲載はお一人1点になります。
*応募作品はウェブ上で公開されることもあります。(講評は紙面のみ掲載)
*応募書類は返却いたしません。

個人情報について

頂いた個人情報はチーム・コヤアラの業務委託を受けるHAZEKI officeが厳重に管理します。名簿はチーム・コヤアラのニュースレター発送に使用させていただく他、チーム・コヤアラの趣旨に沿ってDMクラブ会員にとって有意義と判断した情報を伝達する以外には一切使用せず、チーム・コヤアラ以外の第三者が閲覧、使用することは一切ありません。

各お申し込み・連絡先

チーム・コヤアラ
東京都東村山市久米川町3-27-57 HAZEKI office 内
TEL 042-395-7547 (担当 ハゼキ)
FAX 042-395-7975
URL http://koyaala.jp/
Email team_koyaala@yahoo.co.jp

KOYAALA 通信 編集責任者 羽関チエコ (HAZEKI office)

©KOYAALA TSUSHIN 2010, printed in Japan 本紙記載の記事・写真の無断使用・転載を禁じます。



KOYAALA 通信 No.24

Jan.1, 2016



「KOYAALA 通信」は、チーム・コヤアラがコヤアラ・クラブ会員に発行するニュース・レターです。年4回発行 発行日(予定) 1月1日、4月1日、7月1日、10月1日

第2回

それからの人形たち展 リポート

TEAM KOYAALA exhibition

'The Dolls After' nov.17-22, tokyo

チーム・コヤアラの公募展の受賞者、出品者のその後の変化を追う、第2回「それからの人形たち」展には、前年の出品者にゲストなどを交え70近い作品が集まりました。テーマ、素材は自由。そのため、様々な作品が並びました。それぞれの作品が、テーマの決め方、素材選び、布地の扱い、飾り方などなど、見習うべき視点を語り合う材料にもなります。今年の展示作品の上には、昨年の展示作品の写真を掲示。来場者からは、昨年との比較ができて興味深いという声が聞かれました。

しかしもっとも大切なことは、その人らしい人形であるか、ということです。もちろん人形はその人らしいものになっているのですが、真面目な人ほど理想や模範例の尺度に合わせて、自分で窮屈な人形にしている例がよく見受けられます。欠点にその人らしさ、魅力を知るヒントが隠されていることがよくあります。

どんなにうまい人でも、自分の器以上のものは出せません。これは人形に限らず作品が魅力的な人は、本人も味わい深く魅力がある。それは技術で磨けるものではありません。自分を肥やしていくしかないのです。そのための他者との交流は大切です。今回の出品者の皆様の声を聞くにつけ、チーム・コヤアラの人形展には出品者・参加者が見て話す、考える場となる役割があることを再認識した回となりました。



人形と作者展

第2回「それからの人形たち」展では、同時開催で会場内で「人形と作者」展を開催しました。これは、人形よりもその作者本人の情報のほうがずっと大きいと思ったときに思いついた企画です。ではその本人も展示対象にしてしまったらどうなるだろうと、搬入、飾り付けから作品と一緒に自分を「展示」して頂くことになりました。その一部始終を公開、講評者も参観者も意見を自由に言います。作者がどれだけのロジックを備えているかということも試されます。

この新企画に中国からの白城さん含め6人の方が挑戦してくださいました。

会期を前期、後期と分け、前期は高橋操さん、矢部藤子さんが講評、後期はよねやまりゅうさん、つじとしゆきさんが講評しました。

前期の講評では搬入の仕方、箱の梱包の仕方などに始まり自分らしい作品づくりへの提言まで、後期ではそれぞれ異なる方向性をもつ出品者に対し、それらの表現方法、技術が妥当かという吟味がされました。

それぞれの公開講評の様子は動画で記録をとっており、YouTubeで公開予定です。（公開が遅れて申し訳ありません。公開しましたら、ブログ、twitter などでお知らせいたします。）

中国からの参加

今回は中華人民共和国から、上海の ART DOLL EXPO の主催者、アメリカ・ワンさんと、人形作家の白城さんが来日、鬼契 Spirit Doll の作品も含め3人が特別出品しました。アメリカ・ワンさんは作家でもあり、自作 CG イラストから3D データをおこし、3D プリンターでサイズやパーツを如何様にも制作できる作品例として「Little Prince」を出品。白城さんは粘土やビスクの一点もの。鬼契さんは中国で BJD のオリジナルブランドを立ち上げている作家でそのサンプル、と三者三様の人形を展示しました。日本では3D プリンターを使つての人形については、作品性を問う声も聞かれます。創作人形の歴史が浅い中国から、一足飛びに創作人形の近未来を見せられたように感じました。（前ページ写真2、5参照）

ミーティング&パーティ

11月16日に展示会場そばの会場で40名ほどの方が集まりました。上海のART DOLL EXPO の主催者、アメリカ・ワンさん（右写真中央）と、人形作家の白城さん（右写真右）も参加されました。会場では、昨年の出品者の方の前作と今回作の違い、変化など各出品者から興味深い発言が聞かれました。海外の出品経験者の方からはドイツやロシアの展示の様子を聞いた後、よねやまりゅうさんからは人形の作り手たちに向けて檄が飛ばされました（写真右）。相互交流するのに時間が短いという反省点が残りました。次回は余裕をもちたいと思います。

文責 羽関

2016年は11月に「創作人形公募展」、年に1度の「ミーティング&パーティ」を開催予定しています。

Page1 photos

1：戸田和子 Toda Kazuko 2：アメリカ・ワン Amelia Wang 3：Noe 4：くるはらきみ Kuruhara Kimi 5：鬼契 Spirit Doll 6：矢部藤子 Yabe Fujiko 7：中村寝郎 Nakamura Nerou 8：月光社 Gekkosha
～第2回 それからの人形たち～
2015年11月17日（火）～11月22日（日）
NHK ふれあいホールギャラリー
同時開催 「人形と作者展」
出品者 前期：村田ちか/恵木洋子/たつきー（講評者：高橋操、矢部藤子）
後期：佐々木英俊/中村周子/白城（中国）（よねやまりゅう、つじとしゆき）

人形と作者展

（敬称略）



第1回講評（左から）たつきー、矢部藤子、高橋操



戦争をテーマに飛行帽姿のたつきー



孫娘がモデルのビスクドール出品の恵木洋子



作品に震災後の心境を反映した村田ちか



第2回講評（左から）よねやまりゅう、佐々木英俊、つじとしゆき



和服姿の佐々木英俊



医療現場で使われる布のクワニスドールのアイデアを展開した中村周子



モンゴルの民族衣装の白城。「作者と人形展」では、生きる望みを失った自分を飛ばない雀に例え、苦しみの殻から勇気をもってもがき出ようとする友人を描いた。

HELLO TEDDY!

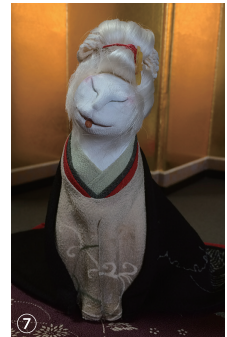


①会場入口では、主催者のラナ・ラッタさんが来場者を迎える姿がよく見かけられる。② FANTANIMA AWARD イリナ・ドロズドヴァさんの作品は来年 FANTANIMA! に招待出品されます。IRINA DROZDVA ③ FANTANIMA! ブースでクムソルトさんの和風うさぎが注目を浴びてました。KUMSOLT ④作家たちからリスペクトされているオルガ・ジャルコヴァさん。いつも開場とともに完売です。OLGA ZHARKOVA ⑤ FANTANIMA! 常連のウラルのペロシュクルスカヤさんは、作風ががらりと変わり、パンクなオリジナルキャラクターを売り出し中。BELOSHUKURSKAYA TATIANA ⑥ FANTANIMA! 日本作家の作品



MOSCOW, DEC. 2015

ART OF DOLL



①会場入口 テーマの人形はクキノヴァ作 ② TEAM KOYAALA ③原田万紀 HARADA MAKI ④新家智子 SHINKE SATOKO ⑤ロシア創作人形界の第一人者エレナ・カスティロ ELENA CASTILLO ⑥ドールチカのビスク直接造形作品 DOLLECHIKA ⑦亀島利子 KAMEJIMA TOSHIKO ⑧ウラル創作人形協会新会長 レサノヴァ作品 SVETLANA RESANOVA ⑨ミトラニを彷彿とさせるリアルな関節人形 ミハイル・ザジコフ MICHAEL ZAJKOV ⑩ Noe 「風見」「怪鳥」⑪山吉由利子 YAMAYOSHI YURIKO ⑫金属造形のドゥロズドフとぬいぐるみのジレンキナのコラボレーション Collaboration by ZROZDOV + ZHIRENKINA